

病害虫発生予察情報（飛騨地域） 6月予報

モモせん孔細菌病、果樹カメムシ類の発生に注意！

【 果樹 】

せん孔細菌病

春型枝病斑が平年より多く、一部ほ場では葉での発病が認められます。春型枝病斑や周辺の新梢葉、果実などの発病部位は伝染源となるため見つけ次第除去し、ほ場外へ持ち出して処分してください。また、多発ほ場では果実への感染防止を図るため、早めに袋かけを行いましょう。

カメムシ類

高山市国府町に設置したチャバネアオカメムシの5月第4半旬までのフェロモントラップ累計誘殺頭数は9.9頭と平年（7.2頭）と比較してやや多く推移しています。風が弱く、夜温が高い薄暮時（日没後2時間位）に活動が活発となるため、園内をよく観察し、発生が認められたら防除を実施してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（6月）

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水	生育(高山市)	並							
	葉いもち	並						<初発生>	葉いもち
	イネミズゾウムシ	少	<幼虫孵化最盛期>						補植苗は発生源になるので早めに除去する。
	イネドロオイムシ	並	< 幼 虫 発 生 期 >						イネミズゾウムシ
稲	防除適期				▲← 葉いもち(初発前)			→▲	箱施薬を実施していないほ場や、多発時には粒剤を施用する(防除の目安: 夕方の100株当たり寄生数が30頭以上)。 イネドロオイムシ 箱施薬を実施していないほ場や、多発時には本田散布を実施する。
		▲←			イネミズゾウムシ(多発時)			→▲	
ホウレンソウ	べと病	並	< 発 病 適 期 >						べと病
	防除適期		▲←			べと病(感受性品種、防除)		→▲	発病に好適な時期になるため、感受性品種では薬剤による防除を必ず行う。
トマト	灰色かび病	並						<初発生>	灰色かび病
	葉かび病	並						<初発生>	花がらや葉先枯れは早期に除去する。
	防除適期		▲←			灰色かび病(初発時)		→▲	葉かび病 発病前から予防的な防除を行う。
野菜全般	コナガ	少							コナガ
	アブラムシ類	少							薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避ける。
	防除適期		▲←			コナガ(ローテーション防除)		→▲	アブラムシ類 定植時に粒剤施用する。高温乾燥が続くと多発する。防虫ネット・シルバーマルチで飛来を抑制する。
果樹	生育(高山市)	早							シンクイムシ類
	シンクイムシ類	やや少						<第1世代成虫最盛期>	新梢伸長期の防除を重点的に実施する。
	カメムシ類	多	< 越 冬 世 代 成 虫 >						カメムシ類
	せん孔細菌病(もも)	多	< 感 染 拡 大 期 >						飛来状況に注意し、適期防除につとめる。
	防除適期		▲←				カメムシ類(果樹園飛来時)	→▲	せん孔細菌病 罹病部位は見つけたら切除する。また、多発するほ場では早く袋かけを行う。

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

調査データ ほか

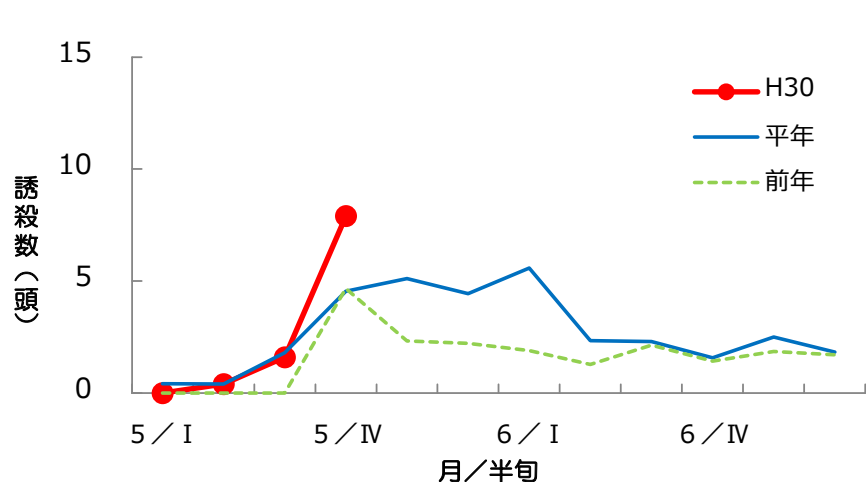


図1 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移 (高山市国府町)

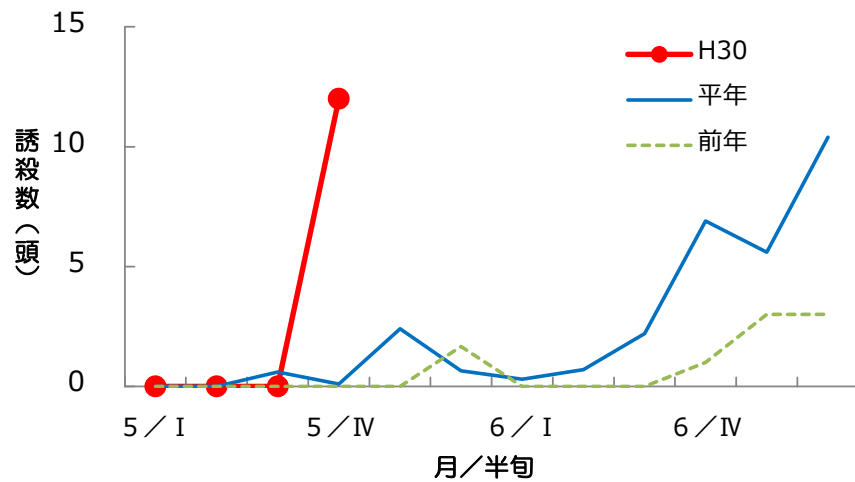


図2 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移 (高山市国府町)

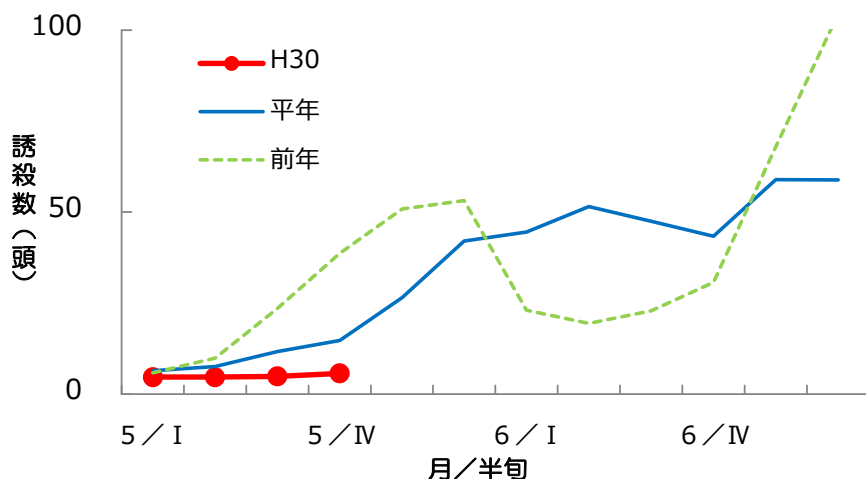


図3 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (高山市下林町)

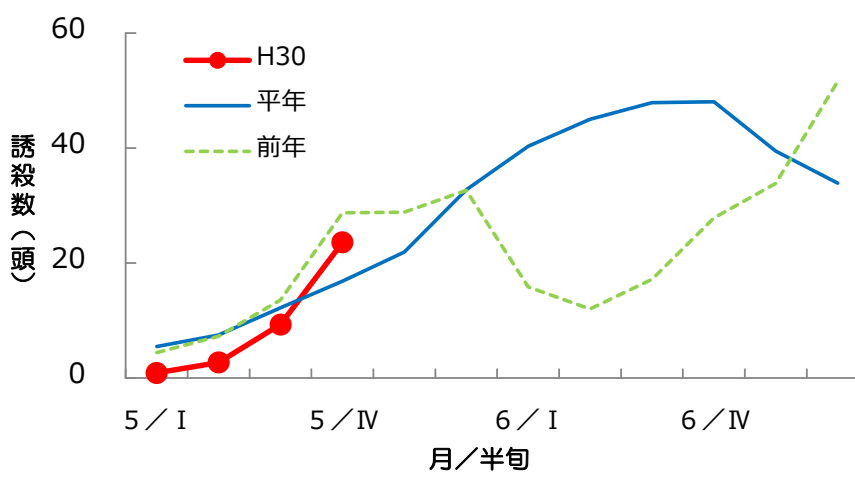


図4 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (飛騨市古川町)

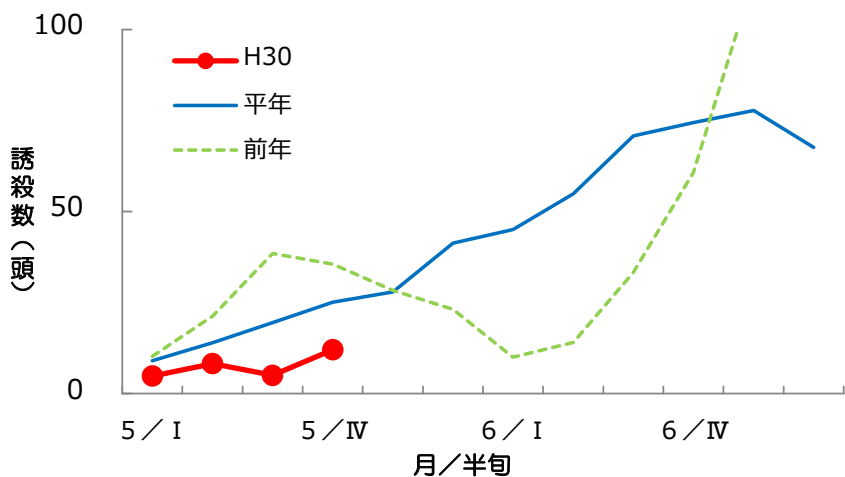


図5 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (下呂市御厩野)



図6 葉のせん孔細菌病初期病斑 (写真赤丸内)

**6～8月は
「農薬危害防止期間」です。**

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報 (名古屋地方気象台 5月24日発表)

向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並～高い、日照時間は少ない～平年並と予想されます。期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 TEL (0577) 33-1111(内線 245) FAX (0577) 34-2706